

3R ( リデュース Reduce ごみを出さない  
 リユース Reuse 繰り返し使う  
 リサイクル Recycle 再び資源にする )

を生活の中に

ながおかの

ご家族みなさんで  
お読みください

この情報誌では、長岡市のごみの現状や、ごみの減量とリサイクルを進めるための取り組みを紹介していきます。



長岡の環境キャラクターベギーちゃん

# ごみ改革

## “燃やすごみ”と生ごみバイオガス発電の現状

今年4月から始まった“生ごみ”の分別と紙や布等のさらなる資源化により、10月までの“燃やすごみ”の量は昨年同期に比べ約4割減少しました。これは市民の皆様のご努力によるもので、“燃やすごみ”の減量は他の焼却施設の整理統合や最終処分場の延命、二酸化炭素の削減など、環境への様々な効果をもたらします。

また、7月から本格稼働した生ごみバイオガス発電センターでは、10月までに合計4,670トンの“生ごみ”を処理して508,620kWh(一般家庭約130世帯の一年分に相当)を発電しており、これによりバイオガス発電センターと寿ごみ焼却施設の電力の一部をまかっています。

市では今後とも、“環境にやさしいまち”を目指して、自然エネルギーの活用に関心をもち、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年度・25年度の“燃やすごみ”量の推移と“生ごみ”の割合 (家庭ごみ 単位:t)

